

研究主題

# 幼児期の教育と小学校教育の 円滑な接続の具現化に関する研究

－子供の発達や学びをつなぐ生活科を中心としたカリキュラムの作成と実施を通して－

【研究担当者】長期研修生 森田 圭子  
(所属校 花巻市立湯本小学校)

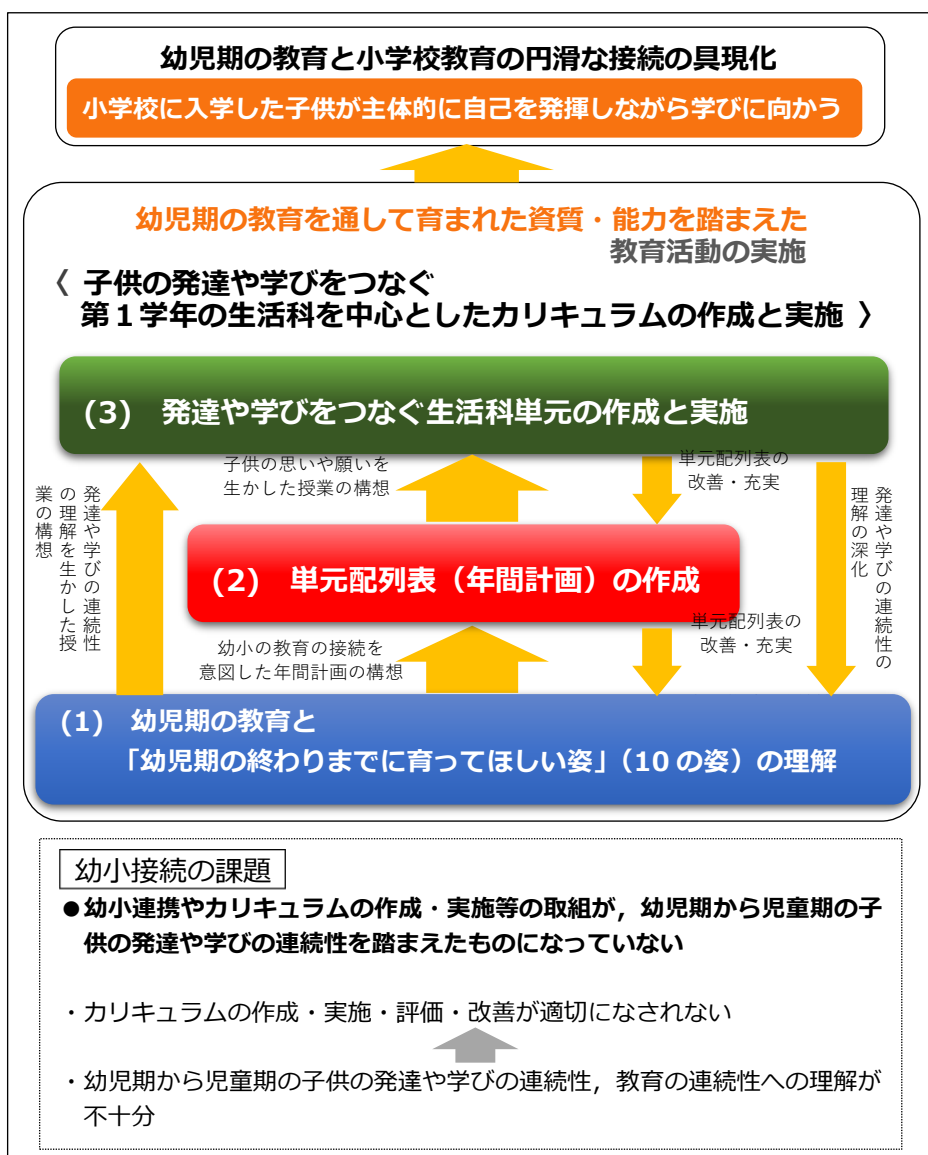
【この研究に対する問い合わせ先】  
TEL 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562  
E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

## I はじめに

新小学校学習指導要領では、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の重要性や、低学年教育全体における生活科の役割の重要性が一層詳しく示されました。本研究は、このことを踏まえ、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の具現化を目指したものです。

これまででも、小学校と幼稚園等の間では幼小連携の取組が行われ、各小学校では、スタートカリキュラムが作成・実施されているところですが、これらの取組が、幼児期から児童期の子供の発達や学びの連続性を踏まえていないことが少なからずあり、幼小の円滑な接続へと十分につながっていない現状があります。その要因として、①幼児期から児童期の子供の発達や学びの連続性、教育の連続性への理解が不十分であること、そのために、②カリキュラムの作成・実施・評価・改善が適切になされないことが考えられます。

そこで、本研究では、保育参観・校内研修会等の実施による「(1) 幼児期の教育と『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』(10の姿)の理解」を土台として、小学校第1学年における生活科を中心とした「(2) 単元配列表(年間計画)の作成」、幼保小教職員による子供の発達や学びの共有に基づく「(3) 発達や学びをつなぐ生活科単元の作成と実施」を行う一連の取組を、「幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえた教育活動の実施」として行い、小学校に入学した子供が主体的に自己を発揮しながら学びに向かう幼小の教育の円滑な接続の具現化の在り方の一例を示しました。



## II 実践

### (1) 幼児期の教育と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)の理解


こんないいこと!

★教師が、子供の発達や学びを生かした関わりができるようになります!

#### 保育参観・校内研修会

小学校教職員にとって 意識を大きく変えるきっかけになります

**講義**  
小学校の全教職員で



10の姿について 知る

園での遊びの中で、子供たちは様々なことを体験し学んできているのです。小学校で、しっかりと引き継がなくては!


【小学校の教職員の声】

- ・幼稚園・保育園の先生方の意見はとても新鮮だった。
- ・1年生の指導において、保育園・幼稚園での学びを踏まえることを心掛けるようになった。
- ・全職員が参加したことにより、共通理解が図られた。

【園の教職員の声】

- ・教師間の交流、話し合いが第一歩だと感じた。小学校の先生方の熱意に感動した。
- ・保育で心がけていることが、小学校生活につながっていることを実感した。
- ・小学校の先生方に、思い立ったら気軽に園に来ていただきたい。

**保育参観**




10の姿を視点として 子供の発達や学びを見取る


4歳  
灯油ポンプでタンクに水を入れて、たまたと違う容器に入れる、を繰り返している。

講義を生かして子供の発達や学びを10の姿を視点として見取り、付箋紙に記録しました。

**演習・協議**  
幼保小の教職員合同で



10の姿を視点として 子供の発達や学びを共有する



グループ協議シートに付箋紙を整理しながら、10の姿や幼小の連続性についての学びを深めました。

この姿は、小学校のどんな場面につながっていくかな?

#### 保幼小連絡会

校種を越え対等で信頼し合えるパートナーシップで、一緒に子供を見ていきましょう

#### 入学当初の授業参観・意見交換

➔ 段差の大きい入学当初のきめ細やかな支援・指導

#### 年間を通して、継続的に

➔ 子供の成長を見通す長期的な視野  
➔ 率直に話し合える幼保小職員の関係づくり

#### 【園の教職員の声】

それぞれの保育・教育を理解し、何が大切かを学ぶことができた。園の指導を振り返ることにつながり、園の生活の中で積み重ねていくべきことに気付いた。

#### 【1学年担任の声】

小学校で1番年下の1年生は、何事も初めてで大変だという意識だったが、子供の発達の途切れない連続性への意識ができた。園でどのような支援や成長があったのかが分かった。5歳から1年生への子供たちの成長の流れや経験の積み重ねを感じた。1年生の指導に生かしたい。

#### 「10の姿」の活用の工夫

##### 「10」の姿のキーワード化

例: 「協同性」のキーワード……□囲み

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

※「研究報告書」では、「VIII 実践と考察」の「3 発達や学びをつなぐ生活科単元の作成と実施」に掲載しています。

「10の姿」に書かれていることを捉えやすく、共有しやすく

子供の発達や学び、資質・能力の捉えと共有を明確に

「具体的な姿」  
+  
「10の姿」  
で共有

### (2) 単元配列表(年間計画)の作成

こんないいこと!

★子供が主体的に学びに取り組むようになります!

#### 生活科と他教科等との関連を俯瞰できる単元配列表の作成と見直し

幼児期の総合的な学びを小学校で発揮できるようにします  
子供の思いや願いを生かした学習活動の展開の準備です

平成30年度 花巻市立湯本小学校 第1学年単元配列表

教科	4月	5月	6月	
国語	あさひ なんていおうかな どんなおはなしかな どうせよしく こころのおおきさ うたにあわせて ことばをつくらう えをみてはなそう	えをみてはなそう① かきとかき あさのおおきさ はなのみち はなをつくらう ねことねこと わがをはなそう おばさんとおばさん	くらばし おもちゃとおもちゃ おもいでしてはなそう あいうえおであそぼう おおきくなった おむすびころりん だからものをしなそう	たか はな すき おほ ほん こん
書写	しせいにもちかた ひらがなのかきかた なまづくりとかき	ひらがなのかきかた せいかうにひらほう ひらがなのかきかた	ひらがなのかきかた せい	
算数	がっこうだいすき ・すたあとぶつく がっこうのせい どきどきわくわく はじめて たのしいがくしゅう たのしい1にち	国① あいさつ/基本 読み聞かせ名刺 音① 手遊び 音② 遊具・並び方 特③ 持ち物/靴箱・手洗い・トイレ/傘/給食/着替え/帰りの準備掃除	なつだ 内容⑤ ・なつこの まじまじ みずであ	
生活科	・みんなががっこうをあるこう ・がっこうをあるいてみよう ・ともだちとがっこうをたんけんしよう ・がっこうにいるひととなかよくなる ・がっこうをたんけんしよう ・たんけんしてみつけたことをはなそう ・みんなであそぶ	きれいにさいてね⑨ ・たねをまよう ・せわをしよう ・せわをしよう	なつか 内容⑦ ・なつか ・せわをしよう	
音楽	たのしいおもしろいな やいさをたのしもう さうさんのさんぽ さうさん	たのしいおもしろいな やいさをたのしもう さうさんのさんぽ さうさん	たのしいおもしろいな やいさをたのしもう さうさんのさんぽ さうさん	
図工	たのしいおもしろいな やいさをたのしもう さうさんのさんぽ さうさん	たのしいおもしろいな やいさをたのしもう さうさんのさんぽ さうさん	たのしいおもしろいな やいさをたのしもう さうさんのさんぽ さうさん	
体育	たのしいおもしろいな やいさをたのしもう さうさんのさんぽ さうさん	たのしいおもしろいな やいさをたのしもう さうさんのさんぽ さうさん	たのしいおもしろいな やいさをたのしもう さうさんのさんぽ さうさん	

#### 合科的・関連的な指導の工夫の記載

関連のある単元や題材を予め把握しておきます

#### 【視点①】

資質・能力の面から合科的・関連的な指導が効果的なものを取り上げる。

#### 線つなぎ

— 【合科的な指導】  
→ 【関連的な指導】

#### 枠囲み

例年、関連付けた学習が行われていた教科・時数・内容

#### 【視点②】

単元配列表が複雑であると活用しにくくなるため、記載数を絞る。

- ・生活科と他教科等との関連のみを記載
- ・汎用性の特に高い資質・能力による関連は、基本的に記入しない

#### 形骸化させずに、活用するために

学校や子供の実態に合わせて見直ししながら活用し、次年度に引き継ぎましょう。

#### Step up

- ▶ 入学当初のスタートカリキュラムの時期は、単元配列表をベースにしながら、週案等のより詳しい計画でも子供の学びをつないでいくことを意識します。
- ▶ 2学年間の児童と発達との関わりや、第3学年以上の学習との関わりに配慮することが望まれます。

#### 合科的・関連的な指導

子供が学習を楽しみ、力を伸ばします

子供の学びは個別の教科内で閉じず、関連付いていきます。  
子供の思考の流れに沿った、合科的・関連的な指導の工夫により、学習効果が相乗的に上がります。

知識及び技能の基礎  
学びに向かう力、人間性等  
思考力、判断力、表現力等の基礎  
思考力、判断力、表現力等  
学びに向かう力、人間性等  
知識及び技能

#### 生活科

年長児の気持ちを考えて、プレゼントするペンダントについて考える。



#### 図画工作科

年長児が喜ぶようなペンダントの色や形を思い付く。

## II 実践

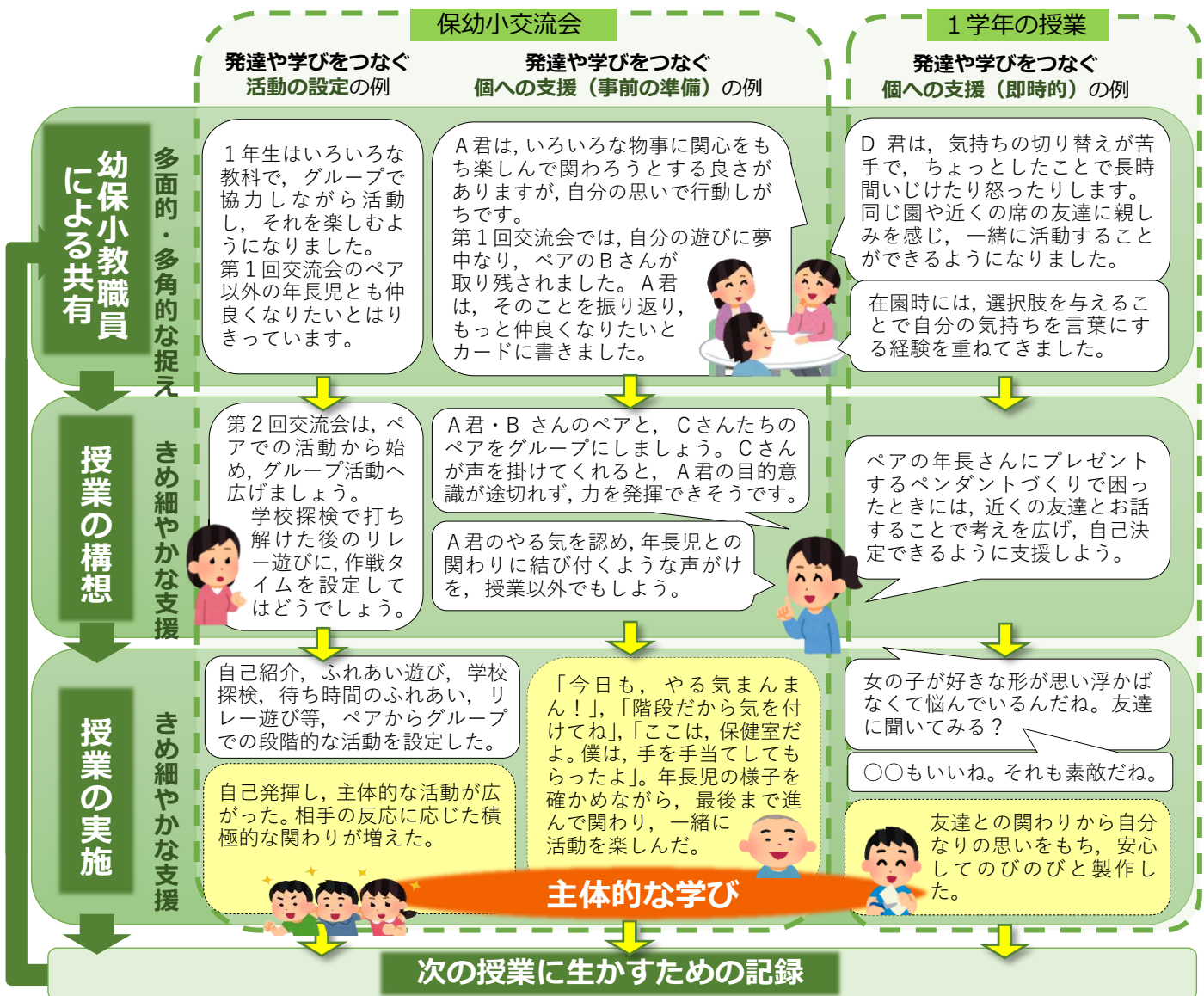
### (3) 発達や学びをつなぐ生活科単元の作成と実施

こんないいこと！

★ 子供が自信をもって主体的に学びに取り組みます！

#### 共有を生かした活動の設定と個への支援のサイクル

子供が自信をもって主体的に学びます



## III おわりに

幼児期の教育の内容や方法、学びを理解することにより、小学校教職員の1年生に対する見方が変わり、子供の発達と学びの連続性を見通す意識が生まれ、単元配列表の改善、授業構想や子供への支援の改善へとつながり、1年生がもつ力を発揮した主体的な学びにつながりました。

▶ 幼保小の教職員の交流の場や、校内での共有の場を設定するなど、幼小接続に学校体制として取り組み、継続していくことが大切です。

Step up

▶ 平成29年度告示の小学校学習指導要領・幼稚園教育要領等に示された「10の姿」について幼保小の教職員が理解を深めること、「10の姿」を介して子供の発達や学びを共有することが、授業の構想・実施の改善につながりました。今後は、小学校入学に際して共有される子供の発達や学びを生かした小学校教育の在り方に一層の重点を置いた実践が望まれます。

研究報告書と補助資料は、岩手県立総合教育センターの下記Webページに掲載しています。

<http://www1.iwate-ed.jp/kankou/kkenkyu/174cd/h30tyou.html>